

「緊急時対応のための情報の収集、分析及び情報提供のあり方に関する検討」について（案）

1 主旨

緊急事態が発生する可能性のあるリスクを早期に探知した際に、より早い段階で的確に対処するため情報の収集、分析及び情報提供のあり方等について検討する。

2 検討のポイント

(1) リスクの早期探知方策について

緊急事態につながる可能性のあるリスクを早期に探知するための手法について検討する。

(2) 探知したリスクへの対応について

探知したリスクに関する関係者間の情報の共有と理解の促進に関する手法について検討する。

3 検討の進め方

19年度	10月30日	第23回緊急時対応専門調査会	[ヒアリングの大枠について提案]
	3月24日	第24回緊急時対応専門調査会	[ヒアリングの進め方について]
20年度	6月(仮)	第25回緊急時対応専門調査会	専門家からのヒアリングを行い、「情報の収集、分析及び情報提供のあり方に関する検討」を進める。
	9月(仮)	第26回緊急時対応専門調査会	
	12月(仮)	第27回緊急時対応専門調査会	
	3月～	第28回 緊急時対応専門調査会	[検討の取りまとめ]

4 ヒアリングの計画

時期	テーマ・視点	内容
第25回	リスクとなり得る健康被害の相談・報告への対応について	・国民、消費者からの相談を直接受付している機関等からの取組紹介
第26回	リスクを早期に探知するための企業としての取組	・食品企業等におけるコンプライアンス遵守の状況及び消費者からのクレーム対応などリスク探知に関する取組紹介
第27回	健康被害事例などに対する「社会的影響」に与えるメディアの役割	・食品をめぐる社会的反響の大きな事案に対するメディアの取り扱い方、それが社会的に与えた影響の分析 ・同様の事案が発生した際のメディアの対応を左右しうる要因についての分析